

終戦の混乱の中、中国に置き去りにされ、
懸命に生き抜いてきた女性を描く

神田さち子ひとり芝居

帰ってきたおばあさん

「帰ってきたおばあさん」は、
何年も前から日本中のあちこちで
人々を感動させてきた、
実話をもとに作られたお芝居なんだ。
終戦後重なる不運で中国から
帰国することができなかった、
残留婦人の波乱万丈の半生を描いている。
僕もまたおばあさんに
会いにいこうと思っているんだ。

——ちばてつや(漫画家)

©CHIBA TETSUYA



終戦70周年記念特別公演

主演／神田さち子
原作／良永勢伊子
演出・上演台本／杉山義法



2015年 **11月7日(土)** 午後2時30分開演
(開場午後2時)

大田区民プラザ [全席自由] (東急多摩川線「下丸子」駅前)

住所 東京都大田区下丸子3-1-3 電話 03-3750-1611

前売 大人**2000円**(税込) 小中高校生 **1000円**(税込)

主催：神田さち子ひとり芝居「帰ってきたおばあさん」実行委員会

連絡先 神田さち子ひとり芝居「帰ってきたおばあさん」実行委員会

担当携帯 090-6546-6412 ファックス 03-3721-3271

後援 大田区／東京新聞／大田区日中友好協会

「戦争は弱いもんが、犠牲になるとです。」

念願叶って懐かしい祖国に一時帰国した王桂花(日本名:鈴木春代)。鹿兒島の錦江湾の浜辺で、ボランティアに自身の半生を語り始めた。「わたしたち夫婦は、新しい生活を目指して満州(中国北東部)開拓団に加わり、大陸へ渡りました。農業も順調、子宝にも恵まれて、私たち家族は幸せでした…。」

その幸福も日本の敗戦によって激変する。逃避行の中で春代は我が子に手をかけ、匪賊に襲われ、夫にも見捨てられる。

置き去りにされた彼女を助けてくれたのは中国人の王才人。彼との間に子供も生まれ、再び新しい家族と幸せを見いだしたのもつかの間、中国全土に吹き荒れた文化大革命の嵐で彼女の家族はバラバラに…「私たちは、日本の国へ何も言うことはありません。ただ、私たちのような者が中国の地にまだいることを、忘れないで下さい。」

忘れられない記憶があります。
伝え聞いた歴史があります。
知らなかった事実があります。

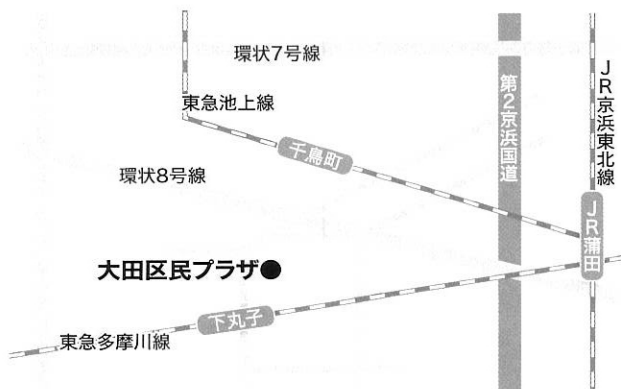
ご挨拶

私たちは、中国残留孤児援護基金主催の神田さち子さんの一人芝居「帰ってきたおばあさん」の舞台を観劇して感銘し、国籍を問わず、一人でも多くの人にこの素晴らしい劇を鑑賞して戴きたいと考えました。当劇は終戦の混乱のなか、中国に置き去りにされ、懸命に生き抜いてきた一人の日本人女性の実話をもとにした作品で、1996年から今日まで全国で190回ほどの公演を重ねております。

戦争というものは、それがいったん勃発すれば、敵、味方に関わりなく、多くの人々の人生が不条理に蹂躪されるということを訴えています。社会的弱者である中国残留孤児の立場から平和を祈念するこの劇の公演は、本年が戦後70年目の年であるだけに、戦争を知らない日本の若い世代の歴史教育という面のみならず、日中の相互理解にも貢献しうるものと信じます。東京都内随一の国際都市大田区で公演することは大変意義深く、総合芸術とされる演劇の力を通し、平和の大切さを次なる世代にまで伝えていきたいと思っております。

神田さち子ひとり芝居「帰ってきたおばあさん」実行委員会

会場案内図



プロフィール

◎神田さち子 / 出演

満州(現中国北東部)撫順生まれ。
「神田さち子語りの会」主宰。「車いすの語り部」との二人三脚の歩みは有名。その体験記が文部大臣賞受賞。(1982年)
1996年から取り組んでいるライフワークのひとり芝居「帰ってきたおばあさん」(第55回文化庁芸術祭参加作品)は国内外で絶賛上演中。本公演で189回目。2012年3度目の訪中で日中友好提携40周年記念公演として大連・北京公演。2015年3月安徽省公演。その模様を4月、NHKBS1「国際報道2015」で放映。
1997年アメリカ、2010年イタリアでのジャパンフェスティバルに参加公演、名古屋御園座、映画「ユリイカ」、NHKラジオ「日曜訪問」、映画「望郷の鐘〜満蒙開拓団の落日」他に出演。
著書「あなたに伝えたくて」「心のはらっぱ-語り愛つむぐ」「奈良の伝説」「奈良のむかし話」他。

◎良永勢伊子 / 原作

1931年福岡県生まれ。福岡外専門学校(現福岡大学)卒業。
1986年「赤い夕日の大地」が読売女性ヒューマンドキュメンタリー大賞にて優秀賞。日本テレビより放送される。
主な著書に「忘れられた人々-中国残留婦人たちの苦闘の歲月」、「哥哥を訪ねて」、「中国1985年夏」他。

◎杉山義法 / 演出・上演台本

1932年新潟県生まれ。日本大学芸術学部出身。
NHK「天と地と」、「赤ひげ」、「春の坂道」、「宮本武蔵」、「妻たちの二・二六事件」、「風見鶏」、「夏の光に…」(モンテカルロ国際テレビ脚本賞)。
日本テレビ「忠臣蔵」(テレビ大賞特別賞85)、「白虎隊」(同優秀作品賞86)、「田原坂」(ATP優秀作品賞87)他。
演劇制作者集団ドラマバンク主宰。

スタッフ

<企画制作>神田さち子語りの会 <舞台監督>野口ひろとし
<照明>土田保照明事務所 <音響>拝野暢男、西田実
<音楽>中田崇、富永節子 <演出助手>奥野月琴 <写真>犬塚治男